

# 株式会社 今野農産



## 1 現在の経営内容等

### (1) 経営理念, キャッチフレーズ等

県内の特産加工品「しそ巻き」を生産面から応援し、地域の活性化に貢献する。

### (2) 栽培技術の特長

- 電照や暖房により、ハウス8棟で大葉を周年栽培している。
- しその香りを活かすため、土耕栽培にこだわっており、天候や生育状態に応じて灌水や防除などを適期に実施することで高品質な商品を提供している。
- 農薬による病虫害防除は必要最低限に抑え、安全・安心な生産を心がけている。
- 平成26年度に補助事業を活用して建設した鉄骨ハウスでは、頭上灌水・防除装置を導入し、作業の省力軽労化を図っている。

### (3) 販売の特長

- 県内の加工業者や旅館などを中心に、約40社へ直接契約販売を行っている。
- 出荷量は日量3万枚～5万枚で、5月の連休や10～11月の紅葉シーズンに需要が多く、出荷量の9割以上がしそ巻き加工用として使われている。
- 季節や用途により異なる需要に応じて規格や数量を柔軟に調整してきたことが、取引先との信頼関係を高め、販路拡大につながっている。

### (4) 経営組織の特長

- 家族経営から発展して設立した一戸一人法人である。

- 代表取締役は経営や栽培全体の総括、取締役は経理、後継者である隆之氏は営業と大まかに分担しているものの、経営方針や作付計画などは3人で話合っていて決定している。

### (5) 労務管理の特長

- パート従業員はフレックス制に近い勤務体制をとっており、各々の状況に合わせ柔軟に勤務できる環境が、多くの雇用を定着させる要因になっている。
- 夏期は早朝からなど季節に応じた変形労働時間体制を整備するなど、できるだけ従事者の身体に負担のかからない労働環境をつくるよう心がけている。

### (6) 経営管理の特長

- 会計期間は3月～2月である。税理士の指導による適切な経営管理を行っている。
- パソコンによる財務管理、労務管理を行っており、省力的経営管理を目指している。

### (7) その他の特長

- 特産品「しそ巻き」の原料を生産することで、地域の雇用創出やみやぎ品として観光業の維持・発展に寄与している。
- 20年以上前から地元小学校の給食材料として提供を続けており、地産地消に貢献している。

## 2 これまでの経過

### (1) 法人化するまでの特徴的な歩み

家族経営で果菜類等を共販向けに生産していたが、大葉の需要が増えたことをきっかけに、35年ほど前に

## 経営のプロフィール

### 経営概要

- 大葉 (1 ha)
- 水稲 (5 ha)

### 主な施設・機械の保有

- 鉄骨ハウス7棟 (8,500㎡)
- パイプハウス1棟 (1,500㎡)
- トラクタ1台

### 構成員等

構成員2名、常時雇用1名、パート11名

### 法人設立年月日

平成26年2月28日

### 認定農業者認定年月日

平成26年3月28日

### 資本金

300万円

### 販売額

4,000万円 (平成26年度)

### 役員名

代表取締役：今野 茂  
取締役：今野 厚子

### 主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

- 平成26年園芸特産重点強化整備事業
- 平成26年スーパーL資金

パイプハウス200㎡で大葉の生産を開始した。以降、地元の加工業者や旅館との長年の信頼関係のもと、段階的にパート雇用を増やしながら規模拡大を図ってきた。社会的信用の確保と経営体としての発展を目指して、平成25年に法人化を検討し、農業改良普及センターや県担い手育成総合支援協議会等の支援を受けて平成26年2月に法人を設立した。

### (2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過、法人化後の変化

東日本大震災後、後継者の就農を契機にさらなる経営拡大、発展を目指して法人化することを決意した。補助事業を活用して鉄骨ハウスを増設し、生産規模が拡大したことが地域の雇用創出につながっている。法人化後は、取引先からの信用が得られやすくなったほか、社内で経営状況を客観的に把握・共有できるようになり、今後の取組等の検討に役立っていると感じている。

## 3 今後に向けて

### (1) 解決すべき課題と現在検討中(取組中)の対処方策

改植時期や突発的な天候不順などにより生産量にばらつきが生じてしまうことが課題と考えているため、作付計画を見直し、周年安定供給体制を固めていきたい。

### (2) 今後に向けての経営戦略

まずは、拡大した施設を効率的に利用して、周年安定供給体制の確立を目指したい。将来的には、大葉以外にも経営基盤となる新たな品目に取り組み、経営を

発展させていきたいと考えている。

(調査：大崎農業改良普及センター)

## 略図



### 株式会社 今野農産

〒989-6123 大崎市古川下中目字不動浦16  
TEL 0229-22-4782 (FAX兼用)  
E-mail ta-kon@hotmail.co.jp

### 視察受入条件

### 要相談

連絡先 大崎農業改良普及センター (P27)